

指定管理者候補者の選定結果について

経済部産業政策・イノベーション推進課所管の新潟市バイオリサーチセンターについて、令和6年8月8日より指定管理者を公募しておりましたが、以下のとおり候補者を選定しました。

施設名	新潟市バイオリサーチセンター	区分	公募
所在地	新潟市秋葉区東島316番地2		
施設の概要	新潟市バイオリサーチセンターは、バイオテクノロジーを活用した研究開発における産学官の連携を推進し、総合的なバイオ研究拠点を形成するとともに、新規産業の創出、産業技術の高度化並びに地域産業の振興及び発展に寄与することを目的として平成17年11月に設置された施設である。		
指定管理者申請者評価会議	委員 三ツ井 敏明（新潟大学 社会連携推進機構 特任教授） 委員 武石 聡之（武石公認会計士事務所 所長） 委員 早川 清丈（新潟県中小企業団体中央会 事務局長） 委員 眞島 操（新潟大学 社会連携推進機構産学イノベーション推進部門 産学官連携リサーチ・コーディネーター）		
指定管理者（候補者）	NBRP共同企業体 代表団体：新潟バイオリサーチパーク株式会社 代表者：代表取締役社長 後藤 博 住所：新潟市秋葉区東島316番地2		
指定期間（予定）	令和7年4月1日～令和12年3月31日		
選定理由	指定管理者候補者の選定にあたっては、1団体からの応募があり、指定管理者申請者評価会議において、上記応募者から提案を受けた事業計画書およびプレゼンテーション等をもとに、選定基準に基づき評価を行った。 その後、評価会議における採点結果や意見交換を参考に検討した結果、施設の管理運営の方針や利用者確保対策など、施設の設置目的を十分理解した提案を行っていた。また、現指定管理者としての運営実績から、業務遂行能力も有しており、指定管理者候補者に選定した。 なお、候補者選定の参考とした評価会議における評価結果は、別表のとおりである。		
現在の指定管理状況との主な変更点	施設利用により生み出された、研究開発等の成果に関する情報発信の強化		
スケジュール	第1回評価会議 令和6年8月1日 ※仕様書・選定基準・目標管理型評価項目の決定 公募要項等配布 令和6年8月8日 公募説明会 令和6年8月21日 質問受付 令和6年8月22日～29日 応募受付 令和6年9月12日まで 第2回評価会議 令和6年10月1日 今後、市議会での審議・議決を経て、指定管理者に指定される。		
所管部署（問い合わせ先）	経済部 産業政策・イノベーション推進課 TEL：025-226-1610（直通） E-mail：sangyo@city.niigata.lg.jp		

【参考】現指定管理期間の評価（令和2年4月～令和7年3月）

指定管理者	NBRP 共同企業体
総評	評価期間中における貸館の利用状況は高い水準を維持した。施設、設備等の故障によるサービス低下を招かぬよう、計画的に保全にも努めており、施設の維持管理に対しては満足できるものである。利用者アンケートからも満足度は高く、指定管理者として適正に管理運営がなされており、指定管理者として優良と評価する。

別表（評価結果）

	選定基準・評価項目	配点	候補者	
評価表による評価	施設の平等利用の確保	団体の経営理念・経営方針	10点	9.0
		施設の管理運営方針	10点	8.5
	施設の効用を最大限に発揮し、管理経費の縮減が図られる	予算の範囲内での適正な執行	10点	7.5
		利用者確保対策	10点	9.0
		産学連携コーディネート	10点	7.0
		自主事業の提案内容	5点	3.5
		要望や苦情への対応	5点	4.0
	事業計画に沿った管理を安定して行う能力	団体の経営の健全性安定性	10点	5.5
		従事者の雇用・労働条件	7点	5.5
		賃金水準スライドの反映方法	3点	2.75
		人材育成及び安全確保災害時の対応	5点	4.25
		利用者情報管理、個人情報保護関係	5点	3.5
		地元経済振興及び雇用確保の取組	10点	7.5
		合計	100点	77.5
評価表以外の評価	総合実績評価による加点	—	0	
	市内中小企業者等への加点	—	5	
	合計	—	82.5	

※点数は、評価会議の委員4名の平均

新潟市バイオリサーチセンター指定管理者事業計画

項目	NBRP共同企業体(選定者)																																															
(1) 事業者の概要	団体構成	代表団体		構成団体																																												
	団体名 本社所在地 設立年月日 資本金 役員・従業員数 事業内容  施設管理実績  <経営状況> 総収入 総支出 当期損益 累積損益	新潟バイオリサーチパーク株式会社 代表取締役社長 後藤 博 新潟市秋葉区東島 316 番地 2 平成 15 年 4 月 16 日 196,400 千円(うち市出資 20,000 千円/10.2%) 役員 9 名、正職員 1 名、臨時・パート等 1 名 新潟市バイオリサーチセンター管理・運営業務 産学連携コーディネート業務、コンサルティング等による研究開発の支援 機能性食品評価事業(食品ヒト臨床試験の受託等) 食品安全支援事業  新潟市バイオリサーチセンター(平成 17 年 7 月～) ※平成 22 年 4 月～: 共同企業体として管理運営		株式会社ブルボン 代表取締役社長 吉田 康 柏崎市駅前 1 丁目 3 番 1 号 大正 13 年 11 月 20 日 1,036,653 千円 役員 21 名、正社員 4,538 名、他 臨時・パート等 菓子・飲料の製造・販売 他  新潟市バイオリサーチセンター(平成 22 年 4 月～)																																												
		<table border="1"> <tr> <td>令和 5 年度</td> <td rowspan="4">} 令和 5 年度決算内訳は下記表の通り</td> </tr> <tr> <td>25,226,724 円</td> </tr> <tr> <td>39,450,140 円</td> </tr> <tr> <td>▲14,223,416 円</td> </tr> <tr> <td>▲191,178,900 円</td> <td></td> </tr> </table>		令和 5 年度	} 令和 5 年度決算内訳は下記表の通り	25,226,724 円	39,450,140 円	▲14,223,416 円	▲191,178,900 円		<table border="1"> <tr> <td>令和 5 年度</td> </tr> <tr> <td>104,623 百万円</td> </tr> <tr> <td>101,552 百万円</td> </tr> <tr> <td>3,071 百万円</td> </tr> <tr> <td>49,150 百万円</td> </tr> </table>	令和 5 年度	104,623 百万円	101,552 百万円	3,071 百万円	49,150 百万円																																
令和 5 年度	} 令和 5 年度決算内訳は下記表の通り																																															
25,226,724 円																																																
39,450,140 円																																																
▲14,223,416 円																																																
▲191,178,900 円																																																
令和 5 年度																																																
104,623 百万円																																																
101,552 百万円																																																
3,071 百万円																																																
49,150 百万円																																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">収入</th> <th colspan="2">支出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定管理業務会計</td> <td>11,179,004 円</td> <td>指定管理業務会計</td> <td>11,034,405 円</td> </tr> <tr> <td>指定管理料(委託料)</td> <td>11,179,004 円</td> <td>人件費</td> <td>4,800,000 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>管理費</td> <td>5,751,769 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>事務費</td> <td>482,636 円</td> </tr> <tr> <td>自主事業会計</td> <td>14,047,720 円</td> <td>自主事業会計</td> <td>28,415,735 円</td> </tr> <tr> <td>大学等からの受託事業</td> <td>10,639,687 円</td> <td>人件費</td> <td>13,902,672 円</td> </tr> <tr> <td>機能性食品評価事業</td> <td>991,113 円</td> <td>管理費</td> <td>236,785 円</td> </tr> <tr> <td>食品安全支援事業</td> <td>967,411 円</td> <td>事務費</td> <td>5,825,688 円</td> </tr> <tr> <td>会費収入等</td> <td>1,449,509 円</td> <td>売上原価</td> <td>8,450,590 円</td> </tr> <tr> <td><b>総収入</b></td> <td><b>25,226,724 円</b></td> <td><b>総支出</b></td> <td><b>39,450,140 円</b></td> </tr> </tbody> </table>		収入		支出		指定管理業務会計	11,179,004 円	指定管理業務会計	11,034,405 円	指定管理料(委託料)	11,179,004 円	人件費	4,800,000 円			管理費	5,751,769 円			事務費	482,636 円	自主事業会計	14,047,720 円	自主事業会計	28,415,735 円	大学等からの受託事業	10,639,687 円	人件費	13,902,672 円	機能性食品評価事業	991,113 円	管理費	236,785 円	食品安全支援事業	967,411 円	事務費	5,825,688 円	会費収入等	1,449,509 円	売上原価	8,450,590 円	<b>総収入</b>	<b>25,226,724 円</b>	<b>総支出</b>	<b>39,450,140 円</b>	※経営状況は、連結損益計算書の金額を計上
収入		支出																																														
指定管理業務会計	11,179,004 円	指定管理業務会計	11,034,405 円																																													
指定管理料(委託料)	11,179,004 円	人件費	4,800,000 円																																													
		管理費	5,751,769 円																																													
		事務費	482,636 円																																													
自主事業会計	14,047,720 円	自主事業会計	28,415,735 円																																													
大学等からの受託事業	10,639,687 円	人件費	13,902,672 円																																													
機能性食品評価事業	991,113 円	管理費	236,785 円																																													
食品安全支援事業	967,411 円	事務費	5,825,688 円																																													
会費収入等	1,449,509 円	売上原価	8,450,590 円																																													
<b>総収入</b>	<b>25,226,724 円</b>	<b>総支出</b>	<b>39,450,140 円</b>																																													
(2) 団体の経営理念・経営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表団体である新潟バイオリサーチパーク(株)は、「新潟バイオリサーチパーク構想」において、ひとつの役割を果たす組織としてバイオテクノロジー研究開発拠点が望まれている中で、それに応えるべく、近郷の食品・バイオ企業が出資して設立されました。</li> <li>新潟薬科大学を中心とした連携活動を通して「食」・「環境」・「健康」を主要課題に、食品を中心としたバイオ関連情報の提供や地域産業の活性化に向けた活動に努めてまいりました。NBRP 共同企業体は今までの実績を積み重ね、更に新たな食品・バイオ関連研究開発と普及に取り組み、地域産業の活性化に寄与することを経営理念といたします。</li> </ul>																																															
(3) 指定管理者申請の動機	<ul style="list-style-type: none"> <li>新潟市バイオリサーチセンターは、「新潟市バイオリサーチパーク構想」により、研究開発を推進・支援する中核施設であり、産官学連携を促進する上で重要な役割を担っており、新潟バイオリサーチパーク株式会社の自主事業である産官学連携推進事業や機能性食品評価事業などを通じて培った技術、経験、ネットワークを活かし、食品・バイオ産業界に貢献しております。この事業体制をベースに、施設・設備の安全かつ適正な管理を、計画・総括し、入居率 100%を維持しながら、新潟市バイオリサーチセンターの効用を最大限に発揮できると考えます。</li> </ul>																																															
(4) 管理運営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>新潟薬科大学を中心に他大学との技術連携を進め、食品分野における最新の情報を提供、そして食品の付加価値評価や機能性研究を通して、食品の高付加価値化を目標に新潟市の食品産業、健康産業等のバイオ関連産業への貢献を目指します。</li> <li>委託研究や共同研究そして研修等を通して、人材育成の場としての当施設の積極的な活用を推進しながら、新潟市バイオリサーチセンター条例第 1 条で定める設置目的を達成するため業務を行います。</li> </ul>																																															
(5) 効率的・効果的な経費支出について	<ul style="list-style-type: none"> <li>機械警備業務、清掃管理業務、消防用設備等保守管理業務、昇降機設備管理業務、自動ドア保守点検業務、樹木管理業務については、専門的知識および実績のある業者に外部委託します。</li> <li>外部委託の選択について合見積もりを作成し、安価な経費を優先としますが、実績と安心・安全管理が保障できる業者を選定します。</li> <li>利用者にも、施設の資源や物品を大切に使うよう掲示板への張り紙やメール配信など注意喚起を行います。</li> <li>消耗品費及び電話料など事務費においても、施設の効用を妨げることない最低限度の節約を実施していきます。</li> <li>事務所内は、エアコンの省エネ対策、照明の昼休み消灯などに努めるほか、館内の照明を在所場所のみ点灯、また人感センサーを活用した共用部照明の部分点灯に心がけ、節電対策を実施いたします。</li> </ul>																																															
(6) 利用者確保の対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>NBRP 共同企業体の新潟バイオリサーチパーク株式会社と株式会社ブルボンが協力し、共同研究及び委託研究体制の構築を進めます。また、新潟バイオリサーチパーク株式会社と新潟薬科大学は、平成 25 年 1 月より包括連携協定を締結しており、企業との産官学連携支援を行っております。</li> <li>平成 27 年度からの指定管理期間は利用率 80%以上をキープし、平成 29 年度から令和 5 年度までの利用率は、100%であり、現在も維持しております。今後もこの利用率を維持できるように利用者ニーズを業務に反映し、活動を進めてまいります。</li> </ul>																																															
(7) 産学連携 コーディネート事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>新潟バイオリサーチパーク株式会社(NBRP 共同企業体)は、新潟市バイオリサーチセンターを拠点とし、新潟薬科大学との包括連携協定や自主事業である産官学連携推進事業および機能性食品評価事業を基に、新潟市農業活性化研究センターや IPC 財団などと連携し、地域産業の活性化に寄与しています。また、新潟市が進めている「健幸づくり応援食品認定制度」の申請支援も行っています。</li> <li>健康ビジネス協議会、H・P 未来産業創造研究会、食品技術研究会に所属することで産業界との交流を広げ、IPC 支援センター、NICO、新潟市農業活性化研究センター、日本食品分析センターとの協力体制を強化しています。これに加え、新潟バイオリサーチパーク株式会社の学術顧問の協力を得ながら、共同研究・受託研究の支援業務、リサーチ業務、コンサル業務、分析支援などを推進することで、新潟市バイオリサーチセンターの食品・バイオ産業の拠点形成を目指します。</li> </ul>																																															



項目	NBRP共同企業体(選定者)			
(8) 自主事業についての事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、主力である機能性食品評価事業では、営業活動を新潟県内にとどまらず、県外にも積極的に展開していきます。</li> <li>・新潟大学医学部内にあるブルボン健康科学研究所オープンイノベーションセンターにも拠点を設け、医学系研究者とのパイプを強化し、健康と食品に関する研究に触れることでノウハウを構築しています。</li> <li>・県内外の企業との業務提携により、これまで受託できなかった業務にも対応し、事業の幅を広げてまいります。</li> </ul>			
(9) 要望や苦情への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の意見や要望を把握するため利用者アンケートを実施し、利用者の意見を施設運営の業務改善に活用するため、対応可能なものはできるだけ速やかに施設運営に反映させるように努めます。</li> <li>・即座に対応できない事項や要望に応えられないようなご意見には、誠意をもってご説明しご理解いただけるよう努めます。</li> <li>・苦情対応は、十分話を聞くなど丁寧に対応し、社内及び新潟市への適切な情報伝達が出来よう努めます。</li> <li>・地元住民との対話、意見交換などコミュニケーションで本音を引き出し、ニーズやクレームなどの情報を収集するために地元町内会に参画し、町内会が企画する各種イベントには積極的に参加し、地元との交流を深めます。</li> </ul>			
(10) 組織・人員体制及び雇用・労働条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟バイオリサーチパーク株式会社と株式会社ブルボンとでNBRP 共同企業体を組織します。</li> <li>・代表団体である新潟バイオリサーチパーク株式会社において産官学連携の推進及びコーディネーター業務と施設の日常業務及び日常のメンテナンス業務を担い、構成団体である株式会社ブルボンにおいて施設及び施設の維持管理の立案及び総括を行います。</li> <li>・人員は新潟バイオリサーチパーク株式会社の代表取締役社長、正職員1名及び非常勤職員1名の3名体制で業務を遂行いたします。</li> <li>・正職員と非常勤職員には労働基準法及び労働契約法等の法令に基づいた就業規則を周知します。</li> <li>・正職員と非常勤職員の業務に互換性を維持し、利用者様に公平かつ迅速なサービスを提供いたします。</li> </ul>			
(11) 賃金水準スライドの反映方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年最低賃金の上昇が続いておりそれに伴い物価の上昇も著しく、企業における人件費の高騰や実質賃金の低下を招いている社会情勢の中において、賃金スライド方式が導入された趣旨と意義を理解し、変動率に応じた見直しを反映年度の年度初めに速やかに実施し、賃上げによって労働環境の向上を図るとともに、労働意欲を維持しセンター利用者に対して益々のサービスの向上に努めます。</li> </ul>			
(12) 人材育成対策	<p>&lt;施設共用業務&gt;</p> <p>個人情報保護：「個人情報の保護に関する取り扱い仕様書」に基づき、個人情報の保護の重要性を強調し、適切に取り扱うための指導を行い、社員全員に徹底させます。</p> <p>苦情対応：苦情対応方法や交渉方針を統一し、対応者による差が出ないようにするため、統一した指導を実施します。</p> <p>接遇指導：施設利用者や訪問者への対応を平等かつ適切に行うため、接遇指導を実施し、質の高い対応を目指します。</p> <p>&lt;産官学連携推進業務&gt;</p> <p>技術共有：提携大学の研究者が保有するバイオテクノロジーに関する技術情報を共有し、コーディネーターの活動と連携できるように指導します。</p> <p>情報交換：新潟薬科大学産官学連携推進センターと定期的な情報交換会を設定し、情報の共有を促進します。</p> <p>&lt;施設・設備管理業務&gt;</p> <p>管理業務：施設管理の理解度を高めるために、管理マニュアルを基に、社員全員がスムーズに業務を行えるよう知識継承を行います（新潟市バイオリサーチセンター管理マニュアル参照）。</p> <p>消防・地震対策：消防計画書や地震マニュアルに基づき、訓練を実施します。また、訓練終了後には、業者からの指導を受け安全対策を検討します。</p> <p>安全管理：「新潟市バイオリサーチセンターの管理に関する協定書」および「新潟市バイオリサーチセンター指定管理者業務仕様書」に基づいて管理運営を徹底します。</p>			
(13) 安全確保・災害時の対応	<p>「新潟市バイオリサーチセンターの管理に関する協定書」に基づき、次の対策を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故や災害等の緊急事態が発生した場合に対応できるよう、年一回消防訓練を実施します。また消防訓練終了後、施設利用者との情報交換会を開き、防災・危機管理の意識向上を目指します。</li> <li>・大規模な停電等が発生した場合、各研究室の冷蔵庫等に保管されている貴重なバイオ関連物質などの損失が最小限にとどまるよう発動発電機にて対応いたします。</li> <li>・各種防災関連マニュアル(地震対策マニュアル、ガス異常発生時における緊急対処フローチャート)に防災関連機関等の緊急連絡先を明確化し、迅速な情報伝達と二次災害等が発生しないように努めます。</li> <li>・新潟市バイオリサーチセンター消防計画の内容を整備し、防火管理についての必要事項を定め、火災、地震、その他災害の予防と人命の安全、被害の軽減を図ります。(新潟市バイオリサーチセンター消防計画)</li> <li>・備品・ロッカー・照明器具等の転倒落下防止対策及び耐震補強、安全スペースの確保などを行うよう推進します。</li> </ul>			
(14) 利用者情報および個人情報の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「個人情報の保護に関する取り扱い仕様書」に基づき、個人情報の保護の重要性を認識し、個人の権利利益を侵害することのないよう個人情報を適正に取り扱います。</li> <li>・パソコンのパスワードを設定、パスワードの適宜変更など、ログイン時のセキュリティ保護の徹底を周知させます。</li> <li>・センター利用者の情報に関しては、本人の承諾なしに教えることはできない旨を伝え、こちらから連絡できるように先方の連絡先を確認し本人に伝えるよう周知させます。</li> <li>・個人情報の記載した書類をメールで送るときは、第三者に個人情報が見られないように、解凍パスワード付の添付ファイルを使用します。</li> </ul>			
(15) 地元経済振興および雇用確保への取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の雇用については、地元の人材を優先的に採用することを主とし、地域の労働力を活用する方針です。また、産官学連携事業によって創出されたベンチャー企業などの人員確保には、地元の大学などとの連携を図り、必要なスキルを持った人材の確保の情報も提供できるよう進めます。</li> <li>・自主事業の物品等の調達やセンターの維持管理をする上で必要な委託業務など、できる限り市内の事業者が参画できるよう心がけます。これらの取り組みを通じて、新潟バイオリサーチパークは、地元経済の振興と市民の雇用確保を推進し、地域社会における信頼と価値を高めてまいります。</li> </ul>			
(16) 収支計画 (令和7年度)	収入		支出	
	指定管理業務会計	11,606千円	指定管理業務会計	11,606千円
	指定管理料(委託料)	11,600千円	人件費	4,495千円
	自主事業収入	6千円	管理費	6,509千円
			事務費	602千円
	自主事業会計	31,050千円	自主事業会計	28,047千円
	大学等からの受託事業	1,000千円	人件費	6,007千円
	機能性食品評価事業	28,000千円	管理費	368千円
	食品安全支援事業	880千円	事務費	4,326千円
	会費収入等	1,170千円	売上原価	17,340千円
			提案等により指定管理業務会計に充てる金額	6千円
	収入合計	42,656千円	支出合計	39,653千円

## 新潟市バイオリサーチセンター 指定管理者申請者 収支計画

### ■収入

(単位：千円)

項目	NBRP共同企業体 (選定者) 令和7～11年度	次点	<参考> 令和2～6年度 収支報告 ※令和6年度は計画
指定管理料(委託料)	58,000		60,411
自主事業収入	30		61
収入合計	58,030	0	60,472

### ■支出

(単位：千円)

項目	NBRP共同企業体 (選定者) 令和7～11年度	次点	<参考> 令和2～6年度 収支報告 ※令和6年度は計画
人件費	22,475		24,000
管理費	32,545		30,749
事務費	3,010		2,997
支出合計	58,030	0	57,746